

クミアイからの おしらせ (第 8 3 号)

平成 2 2 年 1 0 月 1 8 日
香川県トラック総合配送センター協同組合
メールアドレス haisosenta@mc.pikara.ne.jp
ホームページ http://wwwc.pikara.ne.jp/haisosenta

【菅改造内閣での馬淵澄夫新国土交通大臣就任記者会見について】

9月17日に発足した改造内閣で国土交通大臣には、国土交通副大臣の馬淵澄夫氏が就任しました。馬淵国土交通大臣は21日の就任記者会見で、高速道路の新料金案について「国交省及び民主党の政策調査会、国会対策委員会の3者で協議していく」と前原誠司前国交相時の国会での関連法案の審議に委ねるとした方針の修正を示唆した。菅政権による新体制になり、さらに衆参で与野党がねじれたことを踏まえ、「民主党の政調・国対と、わたしたちで具体的な方策を見いだしていく必要がある。」と3者で連携して新たな料金体系を検討していくことを明言した。自公政権時に導入された「普通車の土休日一律1,000円」などの現行割引制度が来年3月に期限切れを迎えることから「野党との対応も踏まえ、早急に新たな方策を示したい。」と意気込みを示した。

【池口修次国土交通副大臣の就任記者会見について】

池口国土交通副大臣は9月29日の就任の記者会見で、高速道路の新料金案について「段階的に無料化を進めるという方向性には変わりはない」と前置きした上で、完全無料化までの新料金案は「前原前国交相が提案した料金体系よりも値下げの方向で議論せざるを得ないだろう」と業界団体の意向を踏まえて検討を進める見解を示した。

【民主党の第5回国土交通部門会議について】

全日本トラック協会は9月15日民主党の第5回国土交通部門会議に出席し、高速道路料金半額化等の引下げおよび営業車特別割引の創設もしくは大口多頻度割引の深堀りを説明し、今年4月に発表された料金案では9割近くの利用が大幅な実質値上げとなる。営業用トラックの利用料金が現状よりも値上げとなることのないような制度設計をお願いしたい。無料化については、著しい混雑、渋滞の発生等は労働環境の悪化にもつながるため、慎重に検討していただきたいと要望。

【補正予算案に含む経済対策、閣議決定について】

内閣は10月8日午前、2010年度補正予算案に盛り込む5兆500億円規模の円高・デフレ対応のための緊急経済対策を閣議決定した。地方が公共事業に使える地域活性化交付金(仮称)創設などが目玉で、政府は経済対策に基づいて補正予算案を編成し、今月中にも臨時国会に提出する方針。

なお、補正予算の事業規模は、中国の輸出規制で不足が懸念されたレアアース(希土類)の確保策や海上保安体制の重点整備などを柱とした21兆1千億円で、実質国内総生産(GDP)の押し上げ効果を0.6%程度、雇用の創出・下支え効果を45万~50万人程度と見込む。財源は税収増や昨年度の剰余金で賄い、新規国債は発行しない。

国土交通省関係の目玉の一つは、ディーゼルトラック・バスの環境対応型車(エコカー)購入補助制度の復活。ディーゼル車のポスト新長期規制車などに対し、従来型との差額の2分の1を助成する。圧縮天然ガス(CNG)トラックやハイブリッドトラックなど次世代型低公害車への補助についても積み増しする方針。

環境対応車補助は大中小型車ともディーゼル車のポスト新長期規制車、15年度重量車燃費基準達成車が対象で、申請期間は平成11年3月までを予定している。営業車のエコカー補助は大型車のポスト新長期規制対応車で最大50万円程度の助成額となる見通しだ。CNG車などの次世代型低公害車については、通常車両価格の2分の1を補助するなどの「低公害車普及促進対策事業(当初予算額10.4億円)」に積み増しをする。

ト ピ ク ス 記	★首都高速道路(株)から入口通行止のお知らせ★	★★ 車両不一致状況 ★★
	中央環状線(外回り) 高松入口 11月7日(日)22時~12月17日(金)22時 工事期間中は板橋本町入口または王子北入口 をご利用ください。	9月走行に係る西日本高速道路(株)からの車両 不一致通行違反の注意警告はありませんでした 。ゼロの継続を続けましょう。
	★首都高速道路(株)から川崎線開通のお知らせ★	ETCカードの確認は確実に !! 一人ひとりが責任を持って確認しよう
	川崎線 殿町から大師ジャンクション 開通日時 10月20日(水)15:00 料金所での通知額変更等については(裏面参照)	★ETCレーンにおける運行速度大幅超え通知★ 西日本高速道路(株)から通報はありません。
◎高速通行料金の支払保証書は平成22年11月22日(月)までに提出願います。		